

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高額医療費支払貸付事業				開始年度	昭和57年度	
基本目標	生涯にわたる心身の健康づくり				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	国保・高齢者医療係	記入者	井戸川 隆	評価者	井上 敏郎
20年度決算	千円	21年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	
20年度人件費	359 千円	21年度人件費	364 千円	事業従事者数	0.05 人	0.05 人	

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	高額な療養費を必要とする被保険者が、一時的に支払う高額な自己負担を軽減するため。
事業の内容	療養の給付を受ける国民健康保険被保険者が支払う一部負担金の額が高額に及ぶときの貸付事業

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	#	
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 申請者数	申請書に基づき、基金より貸付を行った。
	2 貸付金額	申請書に基づき、基金より貸付を行った。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	申請者数	目標値			
		実績値	人	138	55
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	貸付金額	目標値			
		実績値	円	17,407,710	5,885,947
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	そもそもこの事業の本来の目的は、限度額適用認定制度がなかった頃に、最終的には還付されるものの、一時高額な療養費を本人が立て替えなければならなかった自己負担の軽減を図るために、制度化されたものである。 しかし、現在では限度額適用認定証を発行することで、医療機関で支払う個人負担に上限が設けられたため、現在は限度額適用認定証が発行されない保険税滞納者などに適用されている。 保険者が実施すべきものであるし、廃止等の検討する余地もないので、今回で評価項目から削除する。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	成果指標がない。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	効果指標がない。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	なし

事務事業名	高額医療費支払貸付事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	制度実施。21年度から評価項目から削除。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎制度が変わり、評価に馴染まなくなっているため、評価対象としない。
	コスト	現状維持	